

## 量子科学技術委員会における今後の調査検討事項について(案)

科学技術・学術審議会量子科学技術委員会の今後の主な調査検討事項として、以下の事項が挙げられる。

### 1. 推進方策のフォローアップと必要な施策の検討

- ・量子科学技術（光・量子技術）に関わる最新の技術動向（ベンチマーク）
- ・各種施策（SIP、PRISM、Q-LEAP、JST）の進捗を踏まえた新たな施策の検討

### 2. 「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」の事後評価

昨年度終了した本事業に関し、PO 及び各拠点の拠点責任者からヒアリングを行い、今年度中に事後評価書を取りまとめる。

（参考）文部科学省における研究及び開発に関する評価指針（平成 14 年 6 月 20 日（最終改定 平成 29 年 4 月 1 日）文部科学大臣決定） 抜粋

#### 第2部 研究開発評価の実施

##### 第2章 対象別事項

##### 2. 1 研究開発プログラムの評価

##### 2. 1. 4 評価の実施時期

（略）

また、研究開発プログラムの終了時に、目標の達成状況や成果等を把握し、その後の施策展開への活用等を行うため、事後評価を実施する。

（略）

##### 2. 2 研究開発課題の評価

##### 2. 2. 1 競争的資金による研究開発課題

##### 2. 2. 1. 4 評価の実施時期

（略）

また、研究開発課題の終了時に、目標の達成状況や成果等を把握し、その後の課題発展への活用等を行うため、事後評価を実施する。

（略）

なお、「光・量子融合連携研究開発プログラム（平成 25 年度～29 年度）」の事後評価については、量子ビーム利用推進小委員会において行うこととする。